

みなみっ子だより

一年間ありがとうございました

4月に御津南小に赴任してから一年が経とうとしています。記念園の桜がとてもきれいだったのを覚えています。新型コロナウイルス感染症で世界中がパンデミックになっている中、桜は、いつも通り美しい花を咲かせていました。自分もこの桜のように、周りの状況に揺れ動くこともなく落ち着いて過ごさなければと思いました。何度も大きな決断をしなければならないことも多かったこの一年。「子どもたちが成長する上で大事にしたいことは内容を精選し、規模を縮小してでも行う」ということを大事にしながら取り組んできた一年でした。コロナ禍にあっても、子どもたちは無邪気に友だちと笑い合ったり、思いっきり運動場を走り回ったりと日々の暮らしを楽しく過ごしていました。そんな姿からたくさんの元気をもらいました。

さて、3月5日に「6年生を送る会」がありました。（6年生はどんな表情で、この時間を迎えてくれるだろう。喜んでくれるといいな・・・。）と思いながら少し早めに会場に入りました。会場は、花束をイメージした手づくりの掲示物が飾られ、暗幕には、かわいい花々が散りばめられており、準備万端の状態でした。ステージ側には、6年生が座る椅子が整えられ、5年生がきびきびとした動きで準備を進めてくれています。大事な会の司会や運営を任せられ、「成功させるぞ」という気合いも感じます。それらが相乗効果となって厳かな中にも温かい柔らかな空気が生まれていました。これは絶対喜んでくれる！と確信しました。

6年生が入場してきました。ちょっぴり恥ずかしそうに・・・でも表情はとっても嬉しそうです。1年生の始めの言葉で一気に会場が和らぎ、一生懸命に伝える1年生の言葉に私の胸まで熱いものが込みあげてきました。似顔絵とメッセージがかかれたメダルプレゼントを手に取りながら、6年生の顔がほころびます。みんな笑顔です。そんな表情をみていると・・・まずいぞ・・・。すでに私の涙腺も緩くなってきました。

2年生の生き生きとしたダンス。3年生の「ありがとうの花」の歌。4年生の感謝を伝える替え歌や手作りの花のプレゼント。どれも、6年生への「ありがとう」の気持ちが伝わってくるものばかりです。そして最後は6年生の和太鼓演奏。凜とした佇まい。迫力あふれる演奏。下級生にとって憧れの姿。改めて、6年生の存在の大きさを感じました。内容を縮小し、いつもよりも短い時間での送る会でしたが、6年生への「ありがとう」の気持ちがいっぱいだった、すばらしい会でした。

ここでの子どもたちの姿が、この一年間の集大成かなと思いました。今まで経験したことのない環境の中でも、人を思いやる心、感謝する心、友達と力を合わせ協力する心、ちょっと我慢する心、当たり前を大事にする心…。困難な一年だったからこそ、一人ひとりの心が大きく成長できた一年だったと思っています。至らないところも多々あったと思いますが、学校を信じて、いつも温かく見守り応援してくださった保護者の皆様、地域の皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



地域の皆さん、いつも登下校の見守りをしてくださってありがとうございます。



裏面あり



**6年生ありがとう!
ずっとずっと 大好きだよ**

子どもたちの作文より（2年生）

「わたしのおばあちゃんをしようかいいします」

わたしは、はたけしごとが上手な、わたしのおばあちゃんをしようかいいします。

おばあちゃんは、やさしいやくだものをそだててくれます。やさしいやくだものがそだったら分けてくれます。おばあちゃんに分けてもらったやさしいやくだものは、すごくおいしいです。

おばあちゃんがそだてた、やさしいやくだものは、どれもおいしいと思います。

わたしも、おばあちゃんのように、おいしいやさしいやくだものをそだててみたいと思います。自分でそだてた、やさしいやくだものがそだったら、自分で食べてみたいと思います。

「わたしのおばあちゃんをしようかいいします」

わたしは、りょう理がとくいなおばあちゃんをしようかいいします。

おばあちゃんは、毎日りょう理をします。いつも夜ごはんや朝ごはんも作ってくれます。どれもとてもおいしいりょう理です。

わたしは、おばあちゃんのりょう理がだいすきです。こんどいっしょにおばあちゃんと夜ごはんを作りたいと思うし、こんどバナナスムージーを作りたいと思います。ちなみに、おばあちゃんも、コンビニやスーパーで買ったりはしません。でも、食べものがないときに行きます。あと、おばあちゃんは、わたしの大切な人だと思っています。おばあちゃんに、りょう理のこつみたいなのを聞いたら、

「みんなが、えがおになるために、しお、コシヨウをたしたりしているよ。」

それを聞いて、おばあちゃんがしんじやったら、わたしがしてあげたいし、中学生になったら、かていかをおぼえて、大人になってもつくってあげたいです。

「わたしの大すきな場しよについてしようかいいします」

わたしの大すきな場しよは、家のにわです。なぜかというと、花がうえてあったり、きれいな石があなの中に入っていたりするからです。家のにわでは、しろつめぐさで、かんむりを作ったりできます。

いろいろなあそびもできます。一番すきなのは、ねこをなでたりすることです。なぜかというと、ねこをなでると気持ちよくなるし、ふわふわだから一番大すきです。みんなでなでると、もつと気持ちよくなります。

このようにわたしの家のにわは、いろいろなものがあるの、わたしの大すきな場しよです。みなさんも、しろつめぐさで、かんむりを作ってみてください。



「わたしの大すきな場しよについてしようかいいします」

わたしの大すきな場しよは、だいどころです。なぜかという、ごはんを食べるところなので、だいどころで、りょう理をします。

だいたい、りょう理をします。あらいものもみんなです。

ごはんを食べるのが一番すきです。なぜかという、いつもごはんが何か楽しみだからです。みんなと食べるのが一番楽しいし、うれしい時です。このように、だいどころは、とても楽しい大すきな場しよです。なので、とてもしあわせです。

担任をしていた頃、よく日記や作文、詩に取り組んでいました。学級通信に掲載しみんなで読み合うことができました。書くことで、日々の生活を見つめ直すことができました。書くことで、思考力や表現力も高まります。来年度は「校長先生からの宿題！」で、文章を綴ることに取り組んでみようかな。

「わたしのおじいちゃんをしようかいいします」

わたしのおじいちゃんは、やさいをそだてたりして、たまに、にわそうじをして、そのつぎに水やりもしてくれます。わたしも、たまに手つだいをするのがあります。わたしは、そんなおじいちゃんが大すきです。

外でしごとをすることが多いおじいちゃんは、頭や手がぎずついているのがあります。でも、そんなおじいちゃんは、かっこいいなと思います。私は、休みなく、はたけしごとをするおじいちゃんのような人になつてみたいと思いました。

「わたしの大すきな場しよについてしようかいいします」

わたしの大すきな場しよは、おばあちゃんとおじいちゃんの家です。なぜかという、いろいろなあそびができて楽しいからです。

なにかい、ブレーパーができます。いろんなこともあそぶことができます。一番すきなのは、おじいちゃんがつくれるマジックです。マジックの中で一番すきなのは、ひもをつかったマジックです。そのひもをつかうマジックは、何かことばをいうと、ピンからひもがきえるマジックです。

このように、おばあちゃんとおじいちゃんの家は、楽しいところです。おばあちゃんとおじいちゃんの家でいろんなことをしたいと思いました。

なかよし遠足に行ってきました！

3月12日に、あすなる学級、たんぽぽ学級、ひまわり学級のみんなで「なかよし遠足」に行ってきました。野々口駅からJRに乗って法界院駅まで行きました。法界院駅で、ドキドキしながら一人ひとり帰りの切符を買いました。お弁当を買って、いざ「こどもの森」へ！遊んでいる人も少なく、貸し切り状態でした。遊んでいるとポロポロと雨が降ってきたので、屋根のあるところでお弁当をいただきました。雨はどうやら止みそうにありません。雨バージョンに予定を変更して、遺跡&スポーツミュージアムでの見学に行きました。縄文時代の土器に直接さわらせてもらう体験もできて、子どもたちは大喜びでした。



奉仕作業ありがとう！（6年生）

3月19日に、6年生の子どもたちが、学校のために最後の奉仕作業をしてくれました。運動場のタイヤ跳びのタイヤと椅子のペンキ塗りをしてくれました。その後、体育館周りの整頓や草取りもしてくれて、おかげでとってもすっきりしました。6年生のみなさん、本当にありがとうね！

